

---

# 『キミの為に、己の為に』

梅花空木

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

『キミの為に、己の為に』

### 【Nコード】

N5489I

### 【作者名】

梅花空木

### 【あらすじ】

エリオットはある悪夢に悩まされていた。そんな彼を従者のリーオは気遣い……。

見渡す限りの血だまり…その中に立つ己の手も浅黒いに朱に染まっている…。

「…ッ！…ハ…ア…つたく、なんなんだ。」ベッドの上に起き上がる。

「エリオットまたいつもの？」床に腰を下ろし猫背ぎみに読書をしていたリーオが顔を上げる。

「…ああ、胸クソわりい夢。」

「それよりリーオ、お前部屋に帰って寝ろよ。」

「まあエリオットのそれ（悪夢）は僕がいたってどうにもできないけど…気分が紛れるように話し相手にはなれるでしょ？」

「…ん…悪いな。」

「今日は満月なんだな。」窓から外を見て溜め息混じりにエリオットが言う。

「満月は嫌い？」リーオが不思議そうに問う。

「…なんか不気味な感じがするんだ。朱っぽい時とか特にな。」

「でもね？本で読んだんだけど、日本っていう国では『月見』って言う習慣があつて、月にはうさぎが住むって信じられてるんだ。クレーターがうさぎっぽく見えるんだって。」

「…見える…か？」首をかしげて疑り深げにエリオットが言う。

「真偽は確かではないけど、マイナスに考えるより、神秘的ですうつといいと思う。」

「なんか俺ってリーオの前ではいつも情けねえのな。」

「ねえエリオット。キミはさ、他人に自分の弱味を見せたがらないけど…僕の前ぐらいいいんじゃない？そんなの溜め込んでたらキミが壊れちゃうよ。僕はいくらキミが情けなくてもそれを責めたり、失望したりしない。主をありのまま受け止めるのも従者の役目だと

思うから。」

「リーオ…サンキュな…。」

「だからこれは従者として当然の…。」「リーオはエリオットに余計な気を遣ってもらいたくなくて慌てて付け加えた。

「そうじゃない!!…そうじゃ…ないんだ。…ごめん。」「

(強くなりたい。自分の弱ささえも背負って立てるくらい。心配してくれるキミを支えられるくらい。)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5489i/>

---

『キミの為に、己の為に』

2010年10月9日04時12分発行